



地域と生きる

おなが病院・おかがき病院だより



屋上庭園



おなが病院の屋上(5階)に車椅子でも楽しんでいただけるようなバリアフリーの庭園を造り四季の草花を植えています。

177坪の庭園ですが、管理を業者をお願いするのではなく、医局 ME・薬剤部・看護部・3階病棟・4階病棟・HCU・手術室・外来・リハビリ・放射線科・健診部・統括院長室・事務部・地域連携室・ケアプランセンター・ぞうさんルーム・(株)信徳など 17 部署に分割して、病院のスタッフの手が空いた時に手入れをしています。



夏休みには職員と家族のための納涼会を催し、多くの子供さんたちに参加して頂き非常に賑わいました。自動散水器の工事も終わり、四季の野草を楽しんでいただけますので、機会がありましたら、是非、5階までお運び頂けましたら幸いです。

地域総合支援センターのご紹介

遠賀中間医師会 地域総合支援センターは、
平成 30 年 6 月で 3 年目を迎えました。
4 つの事業所の様子をご紹介させていただきます。
地域総合支援センター部長 川端 賢治

ショートステイおかがき

介護認定を受けられている方なら、どなたでも利用できます。
地域の皆様のご利用をスタッフ一同お待ちしております。

通所リハビリテーション

利用者の方が目標を持ち、日々リハビリに励んでおられます。入浴サービスもあります。日常生活に役立つリハビリを、皆で楽しく、支え合い頑張っています。

にこにこクラブ(重度認知症デイケア)

体と心の機能を維持し、生き生きとした毎日を送れるよう、季節の行事やレクリエーション、作品製作、体操等の様々な活動をご用意しています。

ケアプランセンター

高齢者の方々が住み慣れた地域で、健やかで自立した在宅生活を継続できるようケアプランを作成し、‘心を込めて’支援します。

遠賀中間地域 在宅医療介護連携推進事業

住民公開講座

終末の刻を支える～最期の刻まで自分らしく暮らし続けるために～

10/20(土)遠賀中間地域の方の住民公開講座を開催いたしました。



基調講演

・基調講演

「終末の刻を支える」

～最期の刻まで自分らしく暮らし続けるために～

松股 孝 氏

・パネルディスカッション

座長 遠賀中間医師会病院 統括院長 杉町 圭蔵 氏

1. 摂食嚥下障害看護認定看護師の立場から
九州病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 平石 絵里子 氏
2. 管理栄養士の立場から
福岡県栄養士会 管理栄養士 長江 紀子 氏
3. 言語聴覚士の立場から
福岡県言語聴覚士会 言語聴覚士 山田 宏明 氏
4. 歯科医師の立場から
高島歯科医院 院長 高島 昭博 氏
5. リハビリテーション専門医の立場から
おかがき病院リハビリテーション専門医 吉川 公正 氏

・寸劇:「わしゃーずっとこの家でくらしたかー」 劇団おかがき

・脳トレ:「笑顔で脳の活性化」 劇団おかがき

・日本歌曲他:松岡 絵美氏



パネルディスカッション



パネリスト

今回の講座では、「終末の刻を支える」がテーマだったこともあり、地域住民の方はもちろん、医師や看護師などの病院関係者、ケアマネージャーや介護職などの介護サービス関係者などの方々にも多くご参加いただき、当日は200名の方が参加されました。日本尊厳死協会九州支部 ふくおか会長 松股 孝氏による基調講演では、高齢者救急医療の現実と課題、事前指示書の必要性やリビングウィルについての講演がありました。

その後は各専門分野の方々の講演とディスカッションがあり、「食べる楽しみを支える」をテーマに取り組みや課題などを発表していただきました。また、劇団おかがき(おかがき病院職員)による寸劇・脳トレやピアノ伴奏に合わせてオペラ歌手の松岡 絵美氏が日本歌曲を披露されるなど、笑いあり涙あり的一幕もありました。

大ホール横では、在宅医療機器の展示コーナー、血管年齢・もの忘れチェックコーナーなどを設け、関心深く立ち寄られていました。終了後のアンケートからは、「事前の意思表示が大事と思った。最期を選ぶのは、自分自身でありたい」、「口腔ケア、口・舌運動の必要性を再認識した」、「調理の工夫方法が参考になった」など多くのご意見、ご感想をいただきました。



寸劇



脳トレ



日本歌曲

発行日:平成30年11月吉日
発行:遠賀中間医師会おなが病院・おかがき病院
編集:おなが病院・おかがき病院広報委員会